NTT docomo

GALAXY S II LTE SC-03D

クイックスタートガイド

詳しい操作説明は、SC-03Dに搭載されている「取扱説明書」アプリ（eトリセツ）をご覧ください。

はじめに

「SC-03D」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。ご使用の前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

本端末のご使用にあたって

- 本端末は、LTE・W-CDMA・GSM ／ GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所、XiサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本たっている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、LTE・W-CDMA・GSM ／ GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- 本端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- 本端末は、Xiエリア、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され、不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用になるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上、ご利用ください。

- お客様がご利用のアプリケーションやサービスによっては、データ通信を無効に設定してもパケット通信料がかかる場合があります。

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、LTE方式では、ご利用いただけません。また、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

取扱説明書について

本端末の操作は、本書のほかに、本端末用の取扱説明書アプリケーションである「取扱説明書」で、さらに詳しく説明しています。

■ **「クイックスタートガイド」(本書)**

画面の表示内容や基本的な機能の操作について説明します。

■ **「取扱説明書」(本端末のアプリケーション)**

機能の詳しい案内や操作について説明します。

- 本端末のアプリケーション画面で「取扱説明書」をタップします。項目によっては、記載内容をタップして、説明ページよりダイレクトに内容の参照や機能の起動を行うことができます。
- 初めてご利用される際には、画面の指示に従って本アプリケーションのダウンロードとインストールをする必要があります。

■ **「取扱説明書」(PDFファイル)**

機能の詳しい案内や操作について説明します。

- ドコモのホームページでダウンロード
  http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html

※「クイックスタートガイド」の最新情報もダウンロードできます。なお、URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

操作手順の表記について

本書では、メニュー操作など連続する操作手順を省略して以下のように記載しています。

- タップとは、本端末のディスプレイを指で軽く触れて行う操作です（P.40）。

（例）ディスプレイのホーム画面から、▦（アプリアイコン）、8（検索アイコン）を続けてタップする場合は、以下のように記載しています。

1 ホーム画面で「アプリ」→「検索」

- 本書の操作手順や画面は、主にお買い上げ時の状態に従って記載しています。本端末は､お客様が利用するサービスやインストールするアプリケーションによって、メニューの操作手順や画面の表示内容などが変わる場合があります。
- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書では、複数の操作方法が可能な機能や設定は、主に操作手順がわかりやすい方法について説明しています。
- 本書では､「SC-03D」を「本端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

本体付属品／試供品

■ 本体付属品

SC-03D
（リアカバー SC04、
保証書含む）

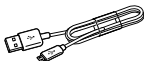
クイックスタートガイド
（本書）

電池パックSC04

FOMA充電microUSB
変換アダプタSC01

ACアダプタSC03
（保証書含む）

USB接続ケーブル SC02

■ 試供品

microSDカード（1GB）

マイク付ステレオヘッド
セット

その他オプション品について → P.69

目次

本端末のご利用にあたっての注意事項

- 本端末は、iモードのサイト(番組)への接続やiアプリなどには対応しておりません。
- 本端末では、ドコモUIMカードのみご利用できます。ドコモminiUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- お客様の電話番号(自局電話番号)は以下の手順で確認できます。
  ホーム画面で ⊟ →「設定」→「端末情報」→「ステータス」をタップします。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリケーションのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 公共モード(ドライブモード)には対応しておりません。
- 本端末では、マナーモード中でも、着信音や各種通知音を除く音(動画再生、音楽の再生など)は消音されません。
- 本端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます(P.80)。
- 本端末は、オペレーティングシステム(OS)のバージョンアップにより機能が追加されたり、操作方法が変更になったりすることがあります。機能の追加や操作方法の変更などに関する最新情報は、ドコモのホームページでご確認ください。
- OSをバージョンアップすると、古いバージョンのOSで使用していたアプリケーションが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- 万が一紛失した場合は、Googleトーク、Gmail、Androidマーケットなどの GoogleサービスやFacebook、Twitter、mixiを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワードを変更してください。
- spモード、mopera Uおよびビジネスmoperaインターネット以外のプロバイダはサポートしておりません。

- ご利用の料金プランにより、テザリング利用時のパケット通信料が異なります。パケット定額サービスのご利用をおすすめします。
- テザリングのご利用には、spモードのご契約が必要となります。
- テザリングの初期設定では、外部機器と携帯電話間のセキュリティは設定されていません。必要に応じて、セキュリティを設定してください。
- ご利用時の料金など詳細については、http://www.nttdocomo.co.jp/をご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ **ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。**

■ **ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。**

■ **次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。**

区分	内容
⚠ **危険**	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ **警告**	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ **注意**	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

■ 次の絵の表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

記号	説明
禁止	禁止(してはいけないこと)を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■ 「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。

1.本端末、電池パック、アダプタ（充電用変換アダプタ含む）、ドコモUIMカードの取り扱いについて（共通）

⚠ 危険

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

本端末に使用する電池パックおよびアダプタ（充電用変換アダプタ含む）は、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

外部接続端子やヘッドホン接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
ガスに引火する恐れがあります。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。
- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。**
- **本端末の電源を切る。**
- **電池パックを本端末から取り外す。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示

本端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらゲームなどを長時間行うと、本端末や電池パック・アダプタ（充電用変換アダプタ含む）の温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

2.本端末の取り扱いについて

⚠ 警告

禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。
視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

本端末内のドコモUIMカードスロットやmicroSDカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。
運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。
ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で本端末が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。

指示

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ず本端末を耳から離してください。また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎると難聴の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。
ディスプレイ内部には耐衝撃性の樹脂、カメラのレンズの表面にはアクリル部品を使用し、ガラスが飛び散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠ 注意

禁止

ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。
本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

本端末が破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、内部物質が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。内部物質が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

禁止

本端末をデコレーションしたり、ペインティングしたりしないでください。
誤動作の原因となります。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
各箇所の材質について → P.19「材質一覧」

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。
視力低下の原因となります。

3.電池パックの取り扱いについて

■ 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

⚠ 危険

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パックを本端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

火の中に投下しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

⚠ 警告

禁止

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠ 注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

禁止

濡れた電池パックを使用したり、充電したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

4.アダプタ（充電用変換アダプタ含む）の取り扱いについて

⚠ 警告

禁止

アダプタ（充電用変換アダプタ含む）のコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

ACアダプタは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、アダプタ（充電用変換アダプタ含む）には触れないでください。
感電の原因となります。

禁止

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

アダプタ（充電用変換アダプタ含む）のコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタ（充電用変換アダプタ含む）のコード、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ:AC100V～240V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)
DCアダプタ:DC12V･24V(マイナスアース車専用)

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタ(充電用変換アダプタを含む)のコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

5. ドコモUIMカードの取り扱いについて

⚠ 注意

指示

ドコモUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。
けがの原因となります。

6. 医用電気機器近くでの取り扱いについて

■ **本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。**

⚠ 警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。
- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本端末の電源を切ってください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末は22cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

7.材質一覧

使用箇所		使用材質	表面処理
ディスプレイパネル		ガラス	-
外装ケース（周囲）	表面	PC	ニッケル蒸着
	裏面	PC	UVコーティング
サイドキー（音量キー、電源キー）		PC	UVコーティング
音量キーの飾り部分		ABS樹脂 + ウレタン	クロムメッキ
リアカバー		PC	UVコーティング
ホームキー／飾り部分		ポリウレタンフィルム／PC	印刷／蒸着
カメラレンズパネル		アクリル樹脂	ニッケル蒸着60%
カメラレンズ周囲部分		アルミニウム	黒アルマイト
RCV飾り部分		ステンレス鋼	印刷
電池パック	端子部分	銅合金	ニッケル下地メッキ／金メッキ
	本体	PC樹脂	ー
	ラベル	PET	ー

8. 試供品（microSDカード（1GB）、マイク付ステレオヘッドセット）の取り扱いについて

⚠ 危険

■ マイク付ステレオヘッドセット

禁止

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 警告

■ microSDカード（1GB）／マイク付ステレオヘッドセット（共通）

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

■ マイク付ステレオヘッドセット

禁止

端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

自動車などを運転中にマイク付ステレオヘッドセットを使用しないでください。
事故の原因となります。

禁止

歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、マイク付ステレオヘッドセットの音量を上げないでください。また、周囲の交通、路面状態には気を付けてください。
事故の原因となります。

⚠ 注意

■ microSDカード（1GB）／マイク付ステレオヘッドセット（共通）

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

■ microSDカード（1GB）

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。
機器の変形やデータの消失、故障の原因となります。

曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。

金属端子部分に手や導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）で触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

本製品へのデータの書き込み／読み出し中に、振動／衝撃を与えたり、電源を切ったり、機器から取り外したりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

分解、改造をしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

■ マイク付ステレオヘッドセット

マイク付ステレオヘッドセットのコードを持って携帯電話を振り回さないでください。
本人や他の人に当たったり、コードが外れたりするなど、けがなどの事故、故障、破損の原因となります。

マイク付ステレオヘッドセットを使用するときは、音量に気を付けてください。
長時間使用して難聴になったり、突然大きな音が出て耳をいためたりする原因となります。

取り扱い上のご注意

共通のお願い

■ **水をかけないでください。**
本端末、電池パック、アダプタ(充電用変換アダプタ含む)、ドコモUIMカードは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。
なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

■ **お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。**
- 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
- ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■ **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

■ **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■ **本端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。**
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子やヘッドホン接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。

■ **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

■ **オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

本端末についてのお願い

■ **ディスプレイの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。**
ディスプレイが破損する原因となります。

■ **極端な高温、低温は避けてください。**
温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。

■ **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**

■ **お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ **本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
故障、破損の原因となります。

■ **外部接続端子やヘッドホン接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
故障、破損の原因となります。

■ **使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**

■ **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

■ **リアカバーを外したまま使用しないでください。**
電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。

■ **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。**
データの消失、故障の原因となります。

■ **磁気カードなどを本端末に近づけないでください。**
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

■ **本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。**
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

電池パックについてのお願い

■ **電池パックは消耗品です。**
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

■ **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**

■ **電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。**

■ **電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。**

■ **電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。**

- フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
- 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

アダプタ（充電用変換アダプタ含む）についてのお願い

■ **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**

■ **次のような場所では、充電しないでください。**

- 湿気、ほこり、振動の多い場所
- 一般の電話機やテレビ·ラジオなどの近く

■ **充電中、アダプタ（充電用変換アダプタ含む）が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**

■ **DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。**
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。

■ **抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**

■ **強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。**
故障の原因となります。

ドコモUIMカードについてのお願い

■ **ドコモUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。**

■ **他のICカードリーダー／ライターなどにドコモUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。**

■ **IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。**

■ **お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**

■ **お客様ご自身で、ドコモUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ **環境保全のため、不要になったドコモUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。**

■ **ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。**
データの消失、故障の原因となります。

■ **ドコモUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
故障の原因となります。

■ **ドコモUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。**
故障の原因となります。

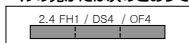
■ **ドコモUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。**
故障の原因となります。

Bluetooth機能を使用する場合のお願い

■ 本端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。

■ Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 周波数帯について
本端末のBluetooth機能／無線LAN機能が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

2.4 FH1 / DS4 / OF4

2.4	：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
FH/DS/OF	：変調方式がFH-SS、DS-SS、OFDMであることを示します。
1	：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
4	：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
（帯表示）	：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

利用可能なチャンネルは国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

■ Bluetoothデバイス使用上の注意事項
本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN（WLAN）についてのお願い

■ 無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

■ 無線LANについて
電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- WLANを海外で利用する場合、ご利用の国によっては使用場所などが制限されている場合があります。その場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

■ 2.4GHz機器使用上の注意事項
WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 本端末の5GHz帯の使用チャンネルについて
本端末は、5GHzの周波数帯において、W52、W53、W56の3種類のチャンネルを使用できます。

- W52、W53は、電波法により屋外での使用が禁じられています。

試供品(microSDカード(1GB)、マイク付ステレオヘッドセット)についてのお願い

■ microSDカード(1GB)/マイク付ステレオヘッドセット(共通)

● 水をかけないでください。
microSDカード、マイク付ステレオヘッドセットは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また、身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。

● **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

● **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■ **マイク付ステレオヘッドセット**

● **携帯電話からマイク付ステレオヘッドセットを取り外すときは、必ずマイク付ステレオヘッドセットのプラグ部分を持って携帯電話から水平に引き抜いてください。**
無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。

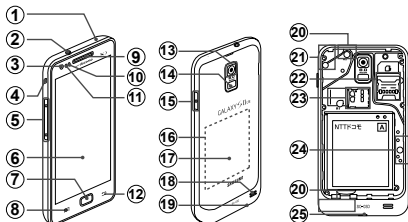
注意

■ **改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**
本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク 〒」が本端末の銘版シールに表示されております。
本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

■ **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。

■ **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**
ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

ご使用前の確認と設定

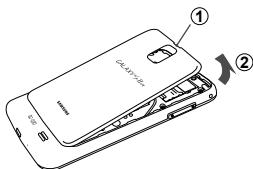
各部の名称と機能

① 送話口	② ヘッドホン接続端子
③ 内側カメラ	④ ストラップ穴
⑤ 音量キー	⑥ ディスプレイ（タッチスクリーン）
⑦ ホームキー	⑧ メニューキー
⑨ 受話口	⑩ 照度センサー
⑪ 近接センサー	⑫ バックキー
⑬ 外側カメラ	⑭ ライト
⑮ 電源／終了キー	⑯ NFC センサー
⑰ リアカバー	⑱ スピーカー
⑲ 送話口	⑳ Xi アンテナ※
㉑ GPS アンテナ※	㉒ ドコモUIMカードスロット
㉓ microSDカードスロット	㉔ Bluetooth ／ Wi-Fiアンテナ※
㉕ 外部接続端子	

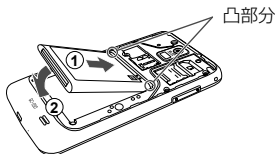
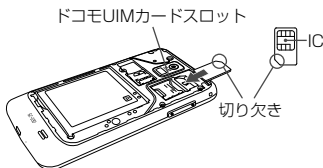
※ アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

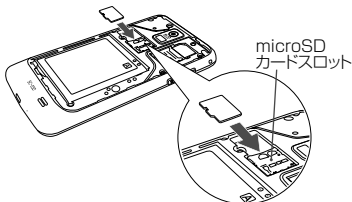
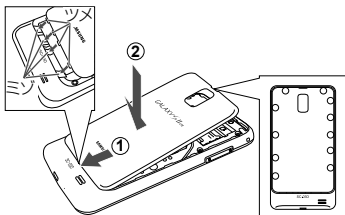
ドコモUIMカード／microSDカード／電池パックの取り付けかた

ドコモUIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。

- 本端末では、ドコモUIMカードのみご利用できます。ドコモminiUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- 本端末の電源を切り、ディスプレイなどが傷つかないよう、手に持って行ってください。また、指や手で電源キーを押さないようにご注意ください。
- 本端末は、2GBまでのmicroSDカードと32GBまでのmicroSDHCカードに対応しています（2012年10月現在）。対応のmicroSDカードは各microSDメーカーへお問い合わせください。
- 本端末専用の電池パックSC04をご利用ください。

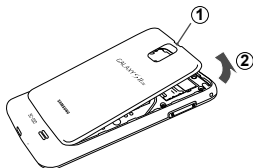
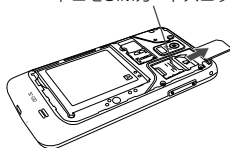
1 リアカバーの①の部分に爪を入れて、②の方向へ持ち上げる

2 リアカバーを上に持ち上げて取り外す

3 電池パックの Ⓐ マークを上にして、本端末の凸部分を電池パックの凹みに確実に合わせ、① の方向へ押し付けながら、② の方向へ押し込む

4 ドコモUIMカードのIC面を下にして、ドコモUIMカードを図の向きでドコモUIMカードスロットの奥まで差し込む

5 microSDカードの金属端子面を下にして、図の向きにスロットへmicroSDカードが固定されるまで奥に差し込む

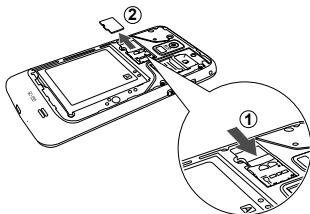
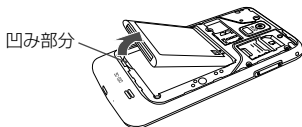
- 正しい向きに差し込むと、まずmicroSDカードスロット内のガイドに軽く当たります。そのまま、「カチッ」と音がするまで、奥に差し込んでください。

6 リアカバーのツメを本端末のミゾに差し込み、①の方向に取り付け、②の方向にしっかりと押し、取り付ける

○部分をしっかりと押し、本端末とすきまがないことを確認してください。

ドコモUIMカード／microSDカード／電池パックの取り外しかた

1 **リアカバーの①の部分に爪を入れて、②の方向へ持ち上げ、リアカバーを取り外す**

- 爪を傷つけないようにご注意ください。

2 **ドコモUIMカードスロットからドコモUIMカードをゆっくり引き抜く**

3 本端末に取り付けられているmicroSDカードを軽く押し込む（①）

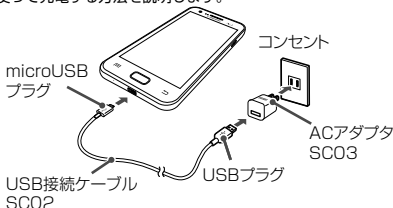
- microSDカードが少し飛び出します。

4 microSDカードをまっすぐ引き出す（②）

5 本端末の凹み部分を利用して電池パックに指をかけて、矢印の方向へ持ち上げて取り外す

お知らせ

- microSDカードを取り外すとき、microSDカードが本端末から飛び出す場合がありますのでご注意ください。
- ドコモUIMカードを取り扱うときは、IC に触れたり、傷つけないようにご注意ください。
- ドコモUIMカードを無理に取り付けたり取り外したりしようとすると、ドコモUIMカードが破損することがありますのでご注意ください。
- 取り外したドコモUIMカードはなくさないようご注意ください。

充電

ACアダプタを利用して充電する

付属のACアダプタ SC03とUSB接続ケーブル SC02を使って充電する方法を説明します。

1 **USB接続ケーブル SC02のUSBプラグを、 の印刷面を上にしてACアダプタへ図の向きに水平に差し込む**

2 **本端末の外部接続端子に、USB接続ケーブル SC02のmicroUSBプラグを、 の印刷面を上にして差し込む**

3 **ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む**

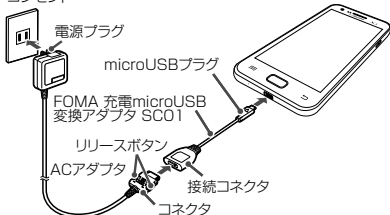
- ACアダプタの電源プラグ部分に強い力をかけないでください。電源プラグ部分が外れることがあります。
- 充電が完了すると、ステータスバーに が表示されます。

4 **充電が完了したら、USB接続ケーブル SC02のmicroUSBプラグを本端末から水平に引き抜く**

5 **ACアダプタからUSB接続ケーブルSC02のUSBプラグを水平に抜く**

6 **ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く**

FOMA ACアダプタ02（別売）を利用して充電する

FOMA ACアダプタ02（別売）と付属のFOMA充電microUSB変換アダプタSC01を使って充電する方法を説明します。

1 ACアダプタのコネクタの刻印面を上にして、FOMA充電microUSB変換アダプタSC01の接続コネクタ（「SAMSUNG」の刻印面が上）へ水平に差し込む

2 本端末の外部接続端子に、FOMA充電microUSB変換アダプタSC01のmicroUSBプラグの「△」の刻印面を上にして差し込む

3 ACアダプタの電源プラグを起こし、コンセントに差し込む

- 充電が完了すると、ステータスバーに 100% が表示されます。

4 充電が完了したら、microUSBプラグを本端末から引き抜く

5 FOMA充電microUSB変換アダプタSC01の接続コネクタから、ACアダプタのコネクタを両側のリリースボタンを押しながら抜く

- 無理に取り外そうとすると、故障の原因になります。

6 ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く

USB接続ケーブルを利用して充電する

付属のUSB接続ケーブル SC02を使って本端末とパソコンを接続すると、本端末をパソコンで充電することができます。

- パソコンとUSB接続を行うと、パソコン上に「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面または「同期セットアップウィザード」画面が表示される場合があります。パソコンと同期せずに充電のみ行いたい場合は、「キャンセル」を選択してください。
- 本端末の状態により、充電に時間がかかる場合や、充電できない場合があります。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 を1秒以上押す

- 起動画面が表示され、続いて画面ロック（P.54）が設定された状態のホーム画面が表示されます。

初めて電源を入れた場合

画面の指示に従って初期設定を行います（P.41）。

2 画面ロックが解除されるまで、画面を上下左右のいずれかの方向にドラッグする

電源を切る

1 を1秒以上押す

- 端末オプション画面が表示されます。

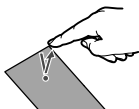
2 「電源OFF」→「OK」

- 終了画面が表示され、電源が切れます。

基本操作（タッチスクリーンの使いかた）

本端末のタッチスクリーン（ディスプレイ）は、指で触れて操作します。本書内では主な操作方法を次のように表記しています。

■ タップする／ダブルタップする

表示項目やアイコンなどを指で軽く触れて選択／実行します（タップ）。また、表示されている画像やホームページなどをすばやく2回続けてタップして、表示内容を拡大／縮小します（ダブルタップ）。

■ スクロールする

表示内容を指で押さえながら上下左右に動かしたり、表示を切り替えたりします。

■ 2本の指の間隔を広げる／狭める

表示されている画像やホームページなどを2本の指で押さえながら、指の間隔を広げたり、狭めたりして表示内容の拡大／縮小ができます。

■ ロングタッチする

表示内容や表示項目などを指で1秒以上触れ続けて、メニューなどを表示します。

■ ドラッグ（スライド）する

表示項目やアイコンなどを指で押さえながら、移動します。

■ フリックする

表示内容を指で押さえながら、すばやく上下左右に動かして離し、表示内容をスクロールします。

初期設定

お買い上げ後、初めて本端末の電源を入れた場合は、画面の指示に従って以下の手順で使用する言語やインターネット接続の方法、GPSの位置情報の設定、およびドコモサービスの初期設定を行います。
ネットワークとの接続や設定の省略などによっては手順が異なる場合があります。

1 「開始」をタップして、設定を開始する

- 表示されている言語をタップすると、使用する言語を選択できます。

■ **インターネットに接続されていない場合**

Wi-Fiネットワーク設定画面が表示されたら、「Wi-Fiを設定する」の操作3（P.43）を行い、「次へ」をタップします。

2 日時設定を行う → 「次へ」

- 日付・時刻情報を取得済みの場合は、表示されないことがあります。

3 Googleアカウントの設定を行う

- 「ログイン」をタップすると、既存のGoogleアカウントでサインインすることができます。
- 「アカウントを作成」をタップすると、新規にGoogleアカウントの設定を行うことができます。
- 「今は設定しない」をタップすると、後でアカウントをセットアップすることができます。

4 クレジットカード情報の登録を行う

- 関連情報を入力して「保存」をタップすると、次へ進むことができます。
- 「スキップ」をタップすると、後でクレジットカード情報の登録を行うことができます。

5 Googleアカウントを使用して、バックアップや復元を行うかを設定 → 「次へ」

6 Google位置情報の利用を許可するかどうかを設定 → 「次へ」

7 本端末の所有者名を設定 → 「次へ」

8 「完了」

9 「進む」

- アプリ一括インストールの画面が表示されます。
- 「インストールする」を選択すると、既存にご契約されているサービスのアプリのインストールを行います。インストールしない場合は、「インストールしない」を選択します。

10 「進む」

- ドコモアプリパスワードの設定画面が表示されます。
- 「設定する」を選択した場合は、ドコモアプリパスワードを入力します。

11 「進む」

- 位置提供設定の画面が表示されます。
  - 「位置提供ON」を選択すると位置情報の送信を許可します。
  - 「位置提供OFF」を選択すると位置情報の送信を拒否します。
  - 「電話帳登録外拒否」を選択すると電話帳登録していない相手に居場所は送信されません。

12 「進む」→「OK」

Wi-Fiを設定する

1 ホーム画面で [メニュー] →「設定」→「Wi-Fi」

- Wi-Fi設定画面が表示されます。

2「Wi-Fi」をONにする

- 利用可能なWi-Fiネットワークのスキャンが自動的に開始され、一覧表示されます。

3 接続したいWi-Fiネットワークをタップ →「接続」

- セキュリティで保護されているネットワークに接続する場合は、パスワード（セキュリティキー）を入力し、「接続」をタップします。

お知らせ

- 一度接続したネットワークのパスワード(セキュリティキー)は自動的に保存され、次回の接続時の入力は不要になります。
- Wi-Fi機能がONのときもパケット通信を利用できます。ただし、Wi-Fi ネットワーク接続中は、Wi-Fi が優先されます。Wi-Fi ネットワークが切断されると、自動的にLTE／3G／GPRS ネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままでご利用される場合は、パケット通信料が発生しますのでご注意ください。

テザリングを利用する

テザリングとは一般に、スマートフォンなどのモバイル機器をモデムとして使い、無線LAN対応機器、USB対応機器をインターネットに接続させることをいいます。

USBテザリング

本端末とパソコンをUSB接続ケーブル SC02と接続し、インターネットに接続することができます。

- USBテザリングを行うには、専用のドライバが必要です。専用のドライバのダウンロードやその他詳細については、以下のホームページをご覧ください。
  ＜パソコンから＞
  http://www.samsung.com/jp/support/download.html

1 本端末の外部接続端子に、USB接続ケーブルSC02を差し込み、本端末をパソコンに接続する

- microUSBプラグは、USBマークの印刷面を上にして水平に差し込みます。

2 ホーム画面で [メニュー] →「設定」→「その他...」→「テザリング」

3「USBテザリング」をチェックする

- メッセージが表示された場合、「OK」をタップします。

お知らせ

- USBテザリング中はSDカードをパソコンに接続できません。
- USBテザリングに必要なパソコンの動作環境(OS)は以下のとおりです。なお、OSのアップグレードや追加／変更した環境での動作は保証いたしかねます。
  - Windows XP（Service Pack 3以降）
  - Windows Vista
  - Windows 7

Wi-Fiテザリング

本端末をポータブルWi-Fiホットスポットとして利用し、無線LAN対応機器をインターネットに8台まで同時接続させることができます。

1 ホーム画面で [メニュー] →「設定」→「その他...」→「テザリング」→「Wi-Fiテザリング」

- メッセージが表示された場合、「OK」をタップします。

画面表示／主なアイコン

ディスプレイ上部のステータスバーには、本端末の状態や通知情報などを示すアイコンが表示されます。ステータスバーの左側に通知アイコンが表示され、右側に本体のステータスアイコンが表示されます。

通知アイコン	
	発信中、通話中または着信中
	不在着信あり
	Bluetoothデバイス（ヘッドセットなど）で通話中
	新着Gmailあり
	新着Eメールあり
	新着SMSあり
	SMSの送達通知あり
	SMSの配信に問題あり
	データダウンロード中／完了
	データアップロード中／完了
	Picasaなどにデータアップロード完了

通知アイコン	
	アラームあり
	カレンダーなどのアラームあり
／	バックグラウンドで音楽プレーヤー再生中／一時停止中
	microSDカードのスキャン中
	microSDカードのマウント解除中
	USB接続中
	エラーメッセージあり
	Google Playからインストール済みアプリケーションのアップデートあり
	Samsung Appsからインストール済みアプリケーションのアップデートあり
	ソフトウェア更新中
	アプリケーションのインストール完了
	非表示の通知情報あり
	VPN接続中（未接続は濃い灰色）
	おまかせロック設定中
	GPS機能現在地測位中（アニメーション表示）／測位完了（アニメーション表示停止）
	ドコモUIMカード未挿入状態

ステータスアイコン	
⇔ （弱⇔強）	電波状態
R ⇔ R （弱⇔強）	電波状態（国際ローミング中）
	圏外
LTE	LTEネットワーク接続中（矢印色:灰色）
LTE	LTEネットワーク通信中（矢印色　左:橙、右:緑）
3G	3Gネットワーク接続中（矢印色:灰色）
3G	3Gネットワーク通信中（矢印色　左:橙、右:緑）
H	FOMAハイスピード／HSDPAネットワーク接続中（矢印色:灰色）
H	FOMAハイスピード／HSDPAネットワーク通信中（矢印色　左:橙、右:緑）
G	GPRSネットワーク接続中（矢印色:灰色）
G	GPRSネットワーク通信中（矢印色　左:橙、右:緑）
	USBテザリング機能ON
	Wi-Fiテザリング機能ON
	USBテザリング機能とWi-Fiテザリング機能を同時にON

ステータスアイコン	
	Wi-Fi接続中(矢印色:灰色)
	Wi-Fi使用中(矢印色　左:橙、右:緑)
	Wi-Fi Direct ON
	Wi-Fi Direct 接続中
	Bluetooth機能ON
	Bluetoothデバイスと接続中
	データ同期中
	機内モード設定中
	マナーモード設定中(バイブレーションあり)
⇔ (低⇔高)	電池レベル
	充電中

設定／通知パネルについて

ステータスバーを下方向にスクロールすると設定／通知パネルが表示され、アイコンをタップして機能を設定したり、通知情報などを確認したりすることができます。

設定／通知パネルの表示内容（表示例）

① Wi-Fi機能のON ／ OFFを切り替えます。

② Bluetooth機能のON ／ OFFを切り替えます。

③ GPS機能のON ／ OFFを切り替えます。

④ マナーモードのON ／ OFFを切り替えます。

⑤ 画面の自動回転のON ／ OFFを設定します。

⑥ 接続中のネットワークの通信事業者名とSIMカードから読み取った事業者名が表示されます。

⑦ 不在着信やSMSの受信などの通知情報が表示されます。

⑧ 上方向にスクロールすると設定／通知パネルを閉じます。

⑨ タップすると通知情報とステータスバーの通知アイコンの表示を消去できます。
- 通知情報の種類によっては、消去できない場合もあります。

お知らせ

- ①～⑤のアイコンは、有効に設定されている場合は緑色で表示されます。

ホーム画面

本端末の電源を入れて起動が完了すると、ホーム画面が表示されます。

ホーム画面の表示内容（表示例）

① **ウィジェット**
タップして、ウィジェット（ホーム画面に配置するアプリケーション）の起動や操作を行います。

② **ショートカット**
タップして、よく使うアプリケーションなどを起動できます。

③ ホーム画面の現在の位置を表示します。ホーム画面を左右にスクロール／フリックして切り替えられます。

④ ホーム画面を切り替えても常に表示されます。
「アプリ」以外のアイコンは、アプリケーション画面（P.52）のアイコンと交換できます。

アプリケーション画面

本端末の機能やアプリケーションは、アプリケーション画面にアイコンで表示され、タップして起動したり、設定を確認したりすることができます。アプリケーション画面は複数のページで構成され、左右にスクロール／フリックして表示を切り替えることができます。

1 ホーム画面で「アプリ」

- アプリケーション画面が表示されます。

アプリケーション画面の表示内容（表示例）

① 本端末の機能やアプリケーションがアイコン表示されます。アプリケーション画面で [メニュー] →「編集」／「リスト表示」／「アプリ情報を共有」をタップすることで、フォルダを追加したり、アプリケーションを一覧表示したり、他のアプリケーションと情報共有したりできます。

② アプリケーション画面の位置が表示されます。
左右にスクロール／フリックして表示を切り替えることができます。

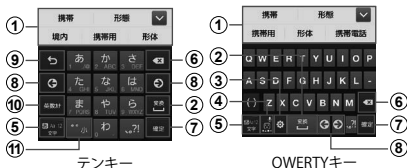
③ アプリケーション画面を切り替えても常に表示されます。

文字入力

文字を入力するには、文字入力欄をタップして文字入力用のキーボードを表示し、キーボードのキーをタップします。
ここでは、Samsung日本語キーパッドで文字を入力する方法について説明します。

Samsung日本語キーパッドで入力する

Samsung日本語キーパッドは、「テンキー」と「QWERTYキー」の2種類のキーボードを利用できます。

- テンキー:一般の携帯電話のような入力方法(マルチタップ方式)のキーボードです。入力したい文字が割り当てられているキーを文字が入力されるまで数回タップします。
- QWERTYキー:パソコンのキーボードと同じ配列のキーボードです。日本語をローマ字で入力します。

① 予測変換候補/通常変換候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。
② 通常変換候補を表示します。
③ 設定メニューを表示します。
④ 絵文字/記号/顔文字の一覧を表示します。
⑤ 文字入力モードを切り替えます。
⑥ カーソルの左側にある文字や記号などを削除します。
⑦ 入力した文字を確定します。
⑧ カーソルを左または右に移動します。
⑨ 確定前の文字を、キーをタップしたときと逆順に切り替えます。
⑩ 英数カナの変換候補が表示されます。再度タップすると予測変換候補/通常変換候補が表示されます。
⑪ 濁点と半濁点を付けたり、文字を大文字/小文字に切り替えます。

ロック／セキュリティ

PINコードを設定する

本端末の電源を入れたときにPINコードを入力しないと使用できないように設定できます。

1 ホーム画面で ⊟ →「設定」→「セキュリティ」→「SIMカードロックを設定」→「SIMカードロック」→ PINコードを入力 →「OK」
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使用できなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」（PUK）を入力してロックを解除してから、PINコードの再設定を行ってください。
「PUK」欄にPINロック解除コード（8桁）を入力 →「新しいPINを入力」欄に新しいPINコードを入力 →「OK」→ 再度PINコードを入力 →「OK」をタップします。

画面ロックの解除方法を設定する

画面ロックの解除時に、あらかじめ設定しておいたロック解除方法で画面ロックを解除しなければならないように設定できます。

1 ホーム画面で ⊟ →「設定」→「セキュリティ」→「画面ロック」

2 「スワイプ／タッチ」／「フェイスアンロック」／「パターン」／「PIN」／「パスワード」→ 画面の指示に従って入力する
- 「パターン」の設定時に、「バックアップPIN」を設定する必要があります。パターンを忘れた場合、バックアップPINを入力することで画面ロックを解除することができます。
- 「バックアップPIN」／「PIN」は4つ以上の数字、「パスワード」はアルファベットを含む4つ以上の文字で設定してください。

お知らせ

- 画面ロック設定をOFFにするには、ホーム画面で [メニュー] →「設定」→「セキュリティ」→「画面ロック」→ パターン／PIN／パスワードを入力 →「なし」をタップします。
- 解除パターンやPIN、パスワードの入力に5回失敗すると、30秒後に再度入力するようメッセージが表示されます。解除パターンを忘れた場合は、再入力の画面で「パターンを忘れた場合」をタップして、本端末に設定したGoogleアカウントにサインインするか、バックアップPINを入力すると、画面ロックを解除できます。PINやパスワード、バックアップPINを忘れた場合は、画面ロックの解除ができませんのでご注意ください。

本端末を初期化する

本端末をお買い上げ時の状態にリセットします。

- microSDカードに保存されているデータは削除されません。削除する場合は、「外部ＳＤカードを初期化」を行ってください。

1 ホーム画面で [メニュー] →「設定」→「バックアップとリセット」→「工場出荷状態に初期化」→「端末リセット」→「全て削除」

お知らせ

- 「ユーザーメモリ（本体）の初期化」にチェックを付けると、本体に保存されている音楽や写真などの全てのデータが削除されます。

電話

電話

電話をかける

1 ホーム画面で「ダイヤル」→「キーパッド」タブ

2 相手の電話番号を入力する

- 同一市内へかけるときでも市外局番から入力してください。

3

- 通話中画面が表示されます。

4 通話が終了したら「通話を終了」

お知らせ

- 通話中画面では次の操作ができます。
  - ※／※：通話を保留／保留解除します。
  - 「通話を追加」※：別の相手に電話をかけます。
  - 「キーパッド」：キーパッドを表示してプッシュ信号を送信します。
  - 「スピーカー」：相手の声をスピーカーから流してハンズフリーで通話します。
  - 「消音」：自分の声を相手に聞こえないようにします。
  - 「ヘッドセット」：Bluetoothデバイスと接続してハンズフリーで通話します。

  ※「キャッチホン」をご契約いただいている場合のみ操作できます。
- 通話相手の声の音量（通話音量）を調節するには、通話中に（音量大）／（音量小）を押します。
- 通話中画面は、本端末を顔に近づけるなどして画面を覆ったとき（ヘッドセットなどを取り付けている場合を除く）や操作せずに約30秒経過すると、自動的に消えます。／を押すと、通話中画面を表示できます。

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防･救急への通報	119
海上での通報	118

お知らせ

- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。位置情報を通知した場合には、ホーム画面に通報した緊急通報受理機関の名称が表示されます。なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- 本端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察･消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署･警察署に接続されない場合があります。
- 日本国内では、ドコモUIMカードを取り付けていない場合、緊急通報110番、119番、118番に発信できません。

電話を受ける

1 電話がかかってくる

- 着信中の画面が表示されます。

2 をタッチすると表示される円の外側までドラッグする

着信拒否する場合

をタッチすると表示される円の外側までドラッグします。

発着信履歴

履歴では、発信履歴、着信履歴、不在着信履歴を一覧で確認できます。

1 ホーム画面で「ダイヤル」→「履歴」タブ

- 履歴画面が表示されます。

：着信／受信履歴　：発信／送信履歴
：電話　：SMS
：不在着信履歴

2 かけたい相手をタップする

3

電話帳

電話帳に登録する

電話帳に名前や電話番号、メールアドレスなどさまざまな情報を登録できます。

1 ホーム画面で「アプリ」→「連絡先」→「電話帳」タブ

2 → 保存先を選択する

3 必要な項目を入力する

4

電話帳コピーツールを利用する

microSDカードを利用して、他の端末との間で電話帳データをコピーできます。また、Googleアカウントに登録された電話帳データをdocomoアカウントにコピーできます。

- microSDカードが外されていたり、利用できない場合は内部ストレージに保存されます。

1 microSDカードを本端末に取り付ける

2 ホーム画面で「アプリ」→「電話帳コピーツール」

- 初めてご利用される際には、「使用許諾契約書」に同意いただく必要があります。

3 画面上部のタブをタップする

- 各機能のタブ画面に切り替わります。

電話帳をmicroSDカードにエクスポートする

1 「エクスポート」タブ画面で「開始」

- docomoアカウントに保存されている電話帳データがmicroSDカードに保存されます。

電話帳をmicroSDカードからインポートする

1 「インポート」タブ画面でインポートしたいファイルをタップ →「上書き」／「追加」

- インポートした電話帳データはdocomoアカウントに保存されます。

Googleアカウントの連絡先をdocomoアカウントにコピーする

1 「docomoアカウントへコピー」タブ画面でコピーしたいGoogleアカウントをタップ →「上書き」／「追加」

- コピーした電話帳データはdocomoアカウントに保存されます。
- 「本体」に登録した電話帳データもGoogleアカウントと同様にdocomoアカウントへのコピーが可能です。

お知らせ

- 他の端末の電話帳項目名(電話番号など)が本端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、連絡先に登録可能な文字は端末ごとに異なるため、コピー先で削除されることがあります。
- 電話帳をmicroSDカードにエクスポートする場合は、名前が登録されていないデータはコピーできません。
- 電話帳をmicroSDカードからインポートする場合は、「Backup」で作成したファイルは読み込むことができません。
- [メニュー] →「ヘルプ」/「バージョン情報」をタップすると、使い方などのヘルプやバージョン情報を見ることができます。
- 電話帳コピーツールについて詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
- 電話帳コピーツールで作成(エクスポート)した電話帳を電話帳コピーツール以外でご利用される場合、正しく表示されないことがあります。

各種設定

設定メニュー

画面の明るさや表示方法、着信音、通信などさまざまな設定を行うことができます。

1 ホーム画面で [メニュー] →「設定」

2 メニュー項目を選択して設定を行う

メニュー項目

表示されるメニューは以下のとおりです。

項目		説明
無線とネットワーク	Wi-Fi	Wi-Fiの設定を行います。
	Bluetooth	Bluetoothの設定を行います。
	データの使用	データの使用量を制限または確認できます。
	その他...	機内モードやテザリング、モバイルネットワークなどの設定を行います。
デバイス	通話	ネットワークサービスや通話に関する設定を行います。
	サウンド	着信音や音量、マナーモードなどの設定を行います。
	画面	壁紙や画面の明るさ、バックライトなど表示に関する設定を行います。

項目		説明
デバイス	省電力モード	省電力に関する設定を行います。
	ストレージ	microSDカードの初期化や容量表示、本体メモリの容量表示を行います。
	バッテリー	アプリケーションごとの電池使用の割合を表示します。各項目をタップすると詳細が表示され、電池消費を抑えるための設定変更もできます。
	アプリケーション	アプリケーションに関する設定を行います。
パーソナル	ドコモサービス	ドコモサービスの利用に関する設定をします。
	アカウントと同期	アカウントや同期に関する設定を行います。
	位置情報サービス	位置情報検索やGPS機能に関する設定をします。
	セキュリティ	画面ロック、パスワードなどに関する設定を行います。
	言語と文字入力	本端末で使用する言語や、キーボードの設定を行います。
	バックアップとリセット	データのバックアップや復元の設定、本端末の初期化を行います。

項目		説明
システム	ドック設定	卓上ホルダ SC03(別売)との接続に関する設定を行います。
	日付と時刻	日付や時刻に関する設定を行います。
	ユーザー補助	ダウンロードしたユーザー補助アプリケーションに関する設定を行います。
	モーション	モーションに関する設定を行います。
	開発者向けオプション	アプリケーション開発時に利用できるオプションを設定します。
	端末情報	本端末に関する各種情報を表示します。

Samsungアカウントについて

Samsungアカウントを設定すると、本端末だけでソフトウェア更新をするとき、パスワードを入力するだけで実行できるようになります。また、SamsungDiveを利用して、本端末をリモートコントロールすることもできます。

- Samsungアカウントは、設定メニュー画面で「アカウントと同期」→「アカウントを追加」→「Samsung account」をタップして、画面の指示に従って設定します。
- SamsungDiveの詳細については、以下のホームページをご覧ください。http://www.samsungdive.com

お知らせ

- Samsungアカウントを設定すると、「工場出荷状態に初期化」を実行できません。「工場出荷状態に初期化」を実行する場合は、Samsungアカウントを削除してから操作してください。
- Samsungアカウントの削除には、Samsungアカウントのパスワードが必要になるため、設定したパスワードはメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- SamsungアカウントのIDやパスワードを忘れた場合は、設定メニュー画面で「セキュリティ」→「SamsungDive Webページ」をタップしてSamsungDiveにアクセスし、「サインイン」→「電子メールまたはパスワードを取得してください。」を選択します。画面の指示に従うと、ID／パスワードの検索や、パスワードを変更することができます。

アクセスポイントを設定する

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード、mopera U）は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。
お買い上げ時には、通常使う接続先としてspモードが設定されています。

利用中のアクセスポイントを確認する

1 ホーム画面で [menu] →「設定」→「その他...」→「モバイルネットワーク」→「APN」

アクセスポイントを追加で設定する

1 ホーム画面で [menu] →「設定」→「その他...」→「モバイルネットワーク」→「APN」→ [menu] →「新規APN」

2 「名前」→ 作成するネットワークプロファイルの名前を入力 →「OK」

3 「APN」→ アクセスポイント名を入力 →「OK」

4 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力

- 携帯国番号（MCC）を440、通信事業者コード（MNC）を10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

5 [menu] →「保存」

お知らせ

- 携帯国番号（MCC）、通信事業者コード（MNC）の設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、初期設定にリセットするか手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

アクセスポイントを初期化する

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 ホーム画面で [メニュー] →「設定」→「その他...」→「モバイルネットワーク」→「APN」

2 [メニュー] →「初期設定にリセット」

spモード

spモードはNTTドコモのスマートフォン向けISPです。インターネット接続に加え、iモードと同じメールアドレス(@ docomo.ne.jp)を使ったメールサービスなどがご利用いただけます。spモードはお申し込みが必要な有料サービスです。
spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

mopera U

mopera UはNTTドコモのISPです。mopera Uにお申し込みいただいたお客様は、簡単な設定でインターネットをご利用いただけます。mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。

1 ホーム画面で [メニュー] →「設定」→「その他...」→「モバイルネットワーク」→「APN」

2 「mopera U」/「mopera U 設定」の ●(灰色)をタップして ●(緑色)にする

お知らせ

- 「mopera U設定」はmopera U設定用アクセスポイントです。mopera U設定用アクセスポイントをご利用いただくと、パケット通信料がかかりません。なお、初期設定画面、および設定変更画面以外には接続できないのでご注意ください。mopera U設定の詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。

メール／インターネット

spモードメール

iモードのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。絵文字、デコメール®が使用が可能で、自動受信にも対応しております。
spモードメールの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

1 ホーム画面で「spモードメール」→ 画面の指示に従ってspモードメールアプリをダウンロードする

SMS

携帯電話番号を宛先にして全角最大70文字（半角英数字のみの場合は160文字）まで、文字メッセージを送受信できるサービスです。

1 ホーム画面で「アプリ」→「SMS」

Eメール

mopera UメールのEメールアカウントや、一般のプロバイダが提供するPOP3やIMAPに対応したEメールアカウントを設定して、Eメールの送受信ができます。

1 ホーム画面で「アプリ」→「Eメール」

Gmail

Gmailを利用して、Eメールの送受信ができます。

- Gmailを利用するには、Googleアカウントの設定が必要です。Googleアカウントの設定画面が表示された場合、画面の指示に従って設定を行ってから操作してください。

1 ホーム画面で「アプリ」→「Gmail」

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。

- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- 最大50件保存できます。
- 電源が入っていない、機内モード中、国際ローミング中、PINコード入力画面表示中などは受信できません。また、本端末のメモリ容量が少ないときは受信に失敗することがあります。
- 受信できなかったエリアメールを後で受信することはできません。

緊急速報「エリアメール」を受信したときは

エリアメールを受信すると、専用ブザー音または専用着信音が鳴りステータスバーに通知アイコンが表示され、受信画面が表示されます。

- 着信音は最大音量で鳴動します。変更はできません。
- お買い上げ時は、マナーモード設定中でも着信音が鳴ります。鳴動しないように設定できます。

受信したエリアメールを表示する

1 ホーム画面で「アプリ」→「エリアメール」

2 確認したいエリアメールをタップする

緊急速報「エリアメール」を設定する

受信設定や着信音設定をします。また、受信時の動作確認もできます。

1 ホーム画面で「アプリ」→「エリアメール」

2 [メニュー] →「設定」

3 項目を設定する

ウェブブラウザ

ブラウザを利用して、パソコンと同じようにウェブページを閲覧できます。

1 ホーム画面で「ブラウザ」

付録

オプション・関連機器のご紹介

本端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
また、オプションの詳細については、各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- ジャケット型電池パック SC02
- HDMI変換ケーブル SC01
- 卓上ホルダ SC03
- 電池パック SC04
- リアカバー SC04
- FOMA 充電microUSB変換アダプタ SC01
- ACアダプタ SC03
- USB接続ケーブル SC02
- FOMA ACアダプタ 02※1※2
- FOMA DCアダプタ 01／02※1
- FOMA 海外兼用ACアダプタ 01※1※2
- FOMA 乾電池アダプタ 01※1
- キャリングケースL 01
- キャリングケース 02
- 車載ハンズフリーキット 01※3
- ワイヤレスイヤホンセット 02※3
- 骨伝導レシーバマイク 02※3
- FOMA 補助充電アダプタ 02※1
- ポケットチャージャー 01
- microUSB接続ケーブル 01
- ドライブネットクレイドル 01
- ACアダプタ 03
- ワイヤレスイヤホンセット 03
- ポケットチャージャー 02
- 海外用AC変換プラグCタイプ 01
- DCアダプタ 03

※1 本端末と接続するには、FOMA 充電microUSB変換アダプタ SC01が必要です。
※2 海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。
※3 本端末とBluetooth通信で接続できます。

試供品（microSDカード（1GB）、マイク付ステレオヘッドセット）

ご使用方法

- 試供品は無料修理保証の対象外です。

microSDカード（1GB）

■ **ご使用上のお願い**

- 取り付けかた／取り外しかたをご確認ください(P.32)。無理に取り付け／取り外しを行うと、故障の原因となります。
- 本製品をご使用の際は、必ずデータのバックアップを作成してください。本製品に記録されたデータの破壊、消失については、故障や損害の内容／原因に関わらず、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品には寿命があります。長期間または繰り返しご使用になると、データの書き込みや読み込みなどのご使用ができなくなったり、遅くなったりする場合があります。
- 本製品およびSDカードアダプタにラベルやシールなどを貼った状態で、機器に取り付けないでください。機器への取り付け／取り外しができなくなったり、接触不良が発生したりする原因となります。
- 本製品を廃棄する場合は、地方自治体の規則に従って処理してください。

■ **免責事項**

次の項目に該当する場合について、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- 本製品の使用または使用不能から生じた損害、逸失利益、および第三者からの請求
- 本製品の取り扱いにおいて、取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害
- 本製品のご使用において発生したデータの消失、破損
  - 当社では、データの復旧／回復作業は行っておりません。
- 接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤作動などから発生した損害

■ 主な仕様

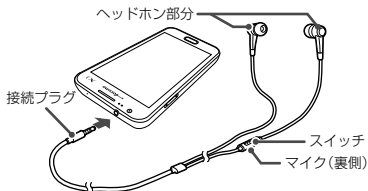
動作電圧	2.7V～3.6V
外形寸法	縦:約15mm、横:約11mm、厚み:約1mm
質量	約0.29g

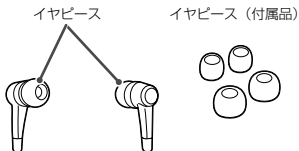
- 仕様および外観は、性能向上のため予告なく変更することがあります。

マイク付ステレオヘッドセット

■ ご使用方法

1 マイク付ステレオヘッドセットの接続プラグを本端末のヘッドホン接続端子に差し込む

- 使い終わったら、取り付けかたと逆の手順で取り外します。

■ イヤピースのサイズが合わないときは

マイク付ステレオヘッドセットには、サイズの異なる2種類のイヤピースが付属しています。サイズが合わないと感じたときは、交換してください。

■ 主な仕様

コネクタ形状	3.5mmステレオミニプラグ
インピーダンス	32Ω
最大入力	40mW（1.13V）
最大出力	111dB
サイズ	長さ 約1254.3mm
質量	約11.3g（本体のみ）

- 仕様および外観は、性能向上のため予告なく変更することがあります。

トラブルシューティング（FAQ）

故障かな？と思ったら

- まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください(P.80)。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、本書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源

症状	チェックする箇所
本端末の電源が入らない(本端末が使えない)	• 電池パックが正しく取り付けられていますか。 → P.32 • 電池切れになっていませんか。→ P.37

■ 充電

症状	チェックする箇所
充電ができない	• 電池パックが正しく取り付けられていますか。 → P.32 • 付属のACアダプタ SC03または FOMA ACアダプタ02（別売）の電源プラグやシガーライタープラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。 • アダプタと本端末が正しくセットされていますか。 • 付属のUSB接続ケーブル SC02またはFOMA充電microUSB変換アダプタSC01と本端末が正しくセットされていますか。 • 卓上ホルダ SC03（別売）をご使用の場合、付属のUSB接続ケーブルSC02または付属のFOMA充電microUSB変換アダプタSC01のコネクタが卓上ホルダにしっかりと接続されていますか。

症状	チェックする箇所
充電ができない	• 卓上ホルダを使用する場合、本端末の充電端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。 • USB接続ケーブル SC02をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。 • 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇して充電できなくなる場合があります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

■ **端末操作**

症状	チェックする箇所
操作中･充電中に熱くなる	• 操作中や充電中、また、通話などを長時間行った場合などには、本端末や電池パック、アダプタ（充電用変換アダプタ含む）が温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。
電池の使用時間が短い	• 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。 • 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。 • 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。
電源断･再起動が起きる	• 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。

症状	チェックする箇所
タッチスクリーンをタップしても動作しない	• 画面ロックが設定されていませんか。▭ ／ ▯ を押して画面ロックを解除してください。 → P.54
ドコモUIMカードが認識されない	• ドコモUIMカードを正しい向きで挿入していますか。 → P.32
時計がずれる	• 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。 日付と時刻の自動が設定されているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。
端末動作が不安定	• ご購入後に端末へインストールしたアプリケーションによる可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリケーションをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。 ※ セーフモードとはご購入時の状態に近い状態で起動させる機能です。 • セーフモードの起動方法 電源がOFFの状態から電源ボタンを押し、Samsungのロゴ画面が表示されている間、▭ を1秒程度長押しし、離しては1秒程度長押しを繰り返してください。 ※ セーフモードが起動するとホーム画面の左下端に「セーフモード」と表示されます。 ※ セーフモードを終了するには、電源を一度OFFにし起動し直してください。

症状	チェックする箇所
端末動作が不安定	• 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。 • お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。 • セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了しご利用ください。
電話発信キーをタップしても発信できない	• ドコモUIMカードが正しく本端末に取り付けられていますか。 → P.32 • 機内モードを設定していませんか。 → P.61

■ **通話**

症状	チェックする箇所
電話発信キーをタップしても発信できない	• ドコモUIMカードが正しく本端末に取り付けられていますか。 → P.32 • 機内モードを設定していませんか。 → P.61
通話ができない（場所を移動しても「圏外」の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）	• 電源を入れ直すか、電池パックまたはドコモUIMカードを取り付け直してください。 → P.32、P.39 • 電波の性質により、圏外ではない、電波が強くアンテナマークが4本表示されている状態（ ）でも、発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。 • 自動着信拒否リストを設定していませんか。 • 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は「しばらくお待ちください」と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

エラーメッセージ

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照先
XXXX(XXXX)が予期せず中止しました。※	本端末や機能にエラーが発生したときに表示されます。「強制終了」をタップしてから再度操作してください。	－
機内モードがONです。通話を行うには、機内モードをOFFにしてください	ドコモUIMカードが正しく取り付けられていない、または機内モードを設定した状態で電話をかけようとしたときに表示されます。ドコモUIMカードが正しく取り付けられていることを確認するか、機内モードをOFFにしてから再度操作してください。	P.32、P.61

※ XXXXには、エラーが発生したアプリケーションや機能の名称などが表示されます。

保証とアフターサービス

保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。

※ 本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。
※ 本端末はケータイデータお預かりサービス（お申し込みが必要なサービス）をご利用いただくことにより、電話帳などのデータをお預かりセンターにバックアップしていただくことができます。

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください。
それでも調子がよくないときは、本書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ **保証期間内は**

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（ディスプレイ・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ **以下の場合は、修理できないことがあります。**

- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子・ヘッドホン接続端子・ディスプレイなどの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ **保証期間が過ぎたときは**

ご要望により有料修理いたします。

■ **部品の保有期間は**

本端末の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、本書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。

  次のような場合は改造とみなされる場合があります。
  - ディスプレイ部やキーにシールなどを貼る
  - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
  - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど

  改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 本端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障·修理やその他お取り扱いによってクリア(リセット)される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所:スピーカー、受話口、カメラ、バイブレータ部分(バックキー付近)、ヘッドホン接続端子付近

- 本端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の本端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

本端末でネットワークに接続して本端末のソフトウェアを更新できます。

1. ホーム画面で［▭］→「設定」→「端末情報」→「ソフトウェア更新」→「更新」
   - Wi-Fi接続時のみファイルのダウンロードを許可する場合は、「Wi-Fiのみ」にチェックを付けます。
2. 以降、画面の指示に従って操作する
   - アップデートするファイルが正常にダウンロードされた後、アップデートするように操作を行うと、端末が再起動され、アップデートが開始されます。アップデート中には電話などの機能を使用できません。

お知らせ

- ソフトウェアをダウンロードしたあと、インストール続行の確認画面で「後で」をタップするとインストールの実行を一定時間延期できます。延期した場合でも、「更新」をタップするとすぐにインストールを開始できます。

携帯電話機の比吸収率（SAR）

この機種［SC-03D］の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準（※1）ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.323W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常ＳＡＲはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。ＮＴＴドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します（※2）。ＮＴＴドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。
世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。
総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
一般社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html
ドコモのホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
SAMSUNGのホームページ
http://www.samsung.com/sar/sarMain.do → Location欄で「JAPAN」→ Language欄で「Japanese」→ Phone Model欄で「SC-03D」→「Go」→ search rusults欄のリンクをクリック

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されました。国の技術基準については、平成23年10月に、諮問第118号に関して情報通信審議会情報通信技術分科会より一部答申されています。

FCC notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
  (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

■ **Information to User**

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.
However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC RF exposure information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.
The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organisations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.
The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.21 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.5 W/kg.

Body-worn operation

This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.0 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.0 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.
The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://transition.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after searching on FCC ID A3LSWDSC03D.
Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) Website at http://www.ctia.org/.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.
The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear was 0.31 W/kg*. As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body as described in this user guide. In this case, the highest tested SAR value is 0.351 W/kg.
As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

Declaration of Conformity

We, **Samsung Electronics**
declare under our sole responsibility that the product

GSM WCDMA BT/Wi-Fi Mobile Phone: **SC-03D**

to which this declaration relates, is in conformity with the following standards and/or other normative documents.

SAFETY	EN 60950-1 : 2006 +A1 : 2010
SAR	EN 50360 : 2001 / AC 2006 EN 62209-1 : 2006 EN 62479 : 2010
EMC	EN 301 489-01 V1.8.1 (04-2008) EN 301 489-03 V1.4.1 (08-2002) EN 301 489-07 V1.3.1 (11-2005) EN 301 489-17 V2.1.1 (05-2009) EN 301 489-24 V1.5.1 (10-2010)
RADIO	EN 301 511 V9.0.2 (03-2003) EN 301 908-1 V4.2.1 (03-2010) EN 301 908-2 V4.2.1 (03-2010) EN 300 440-1 V1.6.1 (08-2010) EN 300 440-2 V1.4.1 (08-2010) EN 302 291-1 V1.1.1 (2005-07) EN 302 291-2 V1.1.1 (2005-07) EN 300 328 V1.7.1 (10-2006) EN 301 893 V1.5.1 (12-2008)

We hereby declare that [all essential radio test suites have been carried out and that] the above named product is in conformity to all the essential requirements of Directive 1999/5/EC.
The conformity assessment procedure referred to in Article 10 and detailed in Annex [Ⅳ] of Directive 1999/5/EC has been followed with the involvement of the following Notified Body(ies):

BABT, Forsyth House, Churchfield Road,
Walton-on-Thames, Surrey, KT12 2TD, UK*
Identification mark: 0168

The technical documentation kept at :

Samsung Electronics QA Lab.

CE0168ⓘ

which will be made available upon request.
(Representative in the EU)

Samsung Electronics Euro QA Lab.
Blackbushe Business Park, Saxony Way,
Yateley, Hampshire, GU46 6GG, UK*

2011.11.04
(place and date of issue)

Joong-Hoon Choi/Lab Manager

(name and signature of authorised person)

* It is not the address of Samsung Service Centre. For the address or the phone number of Samsung Service Centre, see the warranty card or contact the retailer where you purchased your product.

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。本製品及び付属品を輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省へお問合せください。

知的財産権

著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守の上、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

肖像権について

他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、誰にでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮り公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。

商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「Xi」「Xi／クロッシィ」「FOMA」「iモード」「iチャネル」「iアプリ」「デコメール®」「おまかせロック」「公共モード」「mopera」「mopera U」「エリアメール」「spモード」「eトリセツ」「ケータイデータお預かりサービス」「dマーケット」「dメニュー」および「Xi」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

- BluetoothおよびBluetoothロゴは、Bluetooth SIG.Inc.の登録商標であり、ライセンスを受けて使用しています。

- Wi-Fi Certified®とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標または商標です。

- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- 「Google」、「Google」ロゴ、「Android」、「Android」ロゴ、「Google Play」、「Google Play」ロゴ、「Gmail」、「Google Calendar」、「Google Maps」、「Google Talk」、「Google Latitude」「Google+」、「Picasa」および「YouTube」は、Google Inc.の商標または登録商標です。
- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。iWnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2011 All Rights Reserved.
- Microsoft®、Windows Media®、ActiveSync®は、米国Microsoft Corporationの、米国またはその他の国における商標または登録商標です。
- 本製品のソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- DivX®、DivX Certified®およびこれらの関連ロゴは、DivX, Inc.の登録商標であり、ライセンス許諾に基づき使用しています。

DIVXビデオについて: DivX®は、DivX, Inc.が開発したデジタルビデオフォーマットです。本製品は、DivXビデオの再生に対応した正規のDivX Certified®（DivX認証）デバイスです。詳細情報およびビデオファイルをDivX形式に変換するためのソフトウェアについては、divx.comをご覧ください。

プレミアムコンテンツを含む最高HD 720pのDivX®ビデオ再生対応のDivX Certified®（DivX認証）取得済み。

1080pのDivX®ビデオも再生できる場合があります。

DIVXビデオオンデマンドについて:DivXビデオオンデマンド（VOD）コンテンツを再生するには、このDivX Certified®（DivX認証）デバイスを登録する必要があります。登録コードは、デバイスセットアップメニューのDivX VODセクションで確認できます。詳細情報と登録方法については、vod.divx.comをご覧ください。

- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- 「Twitter」はTwitter, Incの商標または登録商標です。
- 「Facebook」は、Facebook, Inc.の商標または登録商標です。
- 「mixi」は株式会社ミクシィの商標または登録商標です。
- MySpace、および関連ロゴはMySpace, Inc.の登録商標です。
- DLNA、DLNA CERTIFIEDは、Digital Living Network Allianceの商標です。

- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。

- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA. LLCにお問い合わせください。

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。
spモードから　dメニュー→「お客様サポートへ」→「各種お申込・お手続き」（パケット通信料無料）
パソコンから　My docomo（http://www.mydocomo.com/）⇒ 各種お申込・お手続き

※ spモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ spモードからご利用になる際は、一部有料となる場合があります。
※ パソコンからご利用になる場合は、「docomo ID ／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID ／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は本書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ **使用禁止の場所にいる場合**

航空機内、病院内では、必ず本端末の電源を切ってください。

※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ **満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くいる可能性がある場合**

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ **運転中の場合**

運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ **劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合**

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、本端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

■ 公共モード（電源OFF）

電話をかけてきた相手に、電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

■ バイブ

電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。

■ マナーモード

キー確認音・着信音など本端末から鳴る音を消します。

※ ただし、シャッター音は消せません。

■ 機内モード

すべてのワイヤレス接続を無効にします。

そのほかにも、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどのオプションサービスが利用できます。

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。

※ 回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際は、回収、リサイクルに出しましょう。

海外での紛失、盗難、精算などについて〈ドコモ インフォメーションセンター〉（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6832-6600*（無料）**

* 一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※ SC-03Dからご利用の場合は、+81-3-6832-6600でつながります。（「+」は「0」をロングタッチします。）

一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8000120-0151***

* 滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※ 主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

● **紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。**

海外での故障について〈ネットワークオペレーションセンター〉（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6718-1414*（無料）**

* 一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※ SC-03Dからご利用の場合は、+81-3-6718-1414でつながります。（「+」は「0」をロングタッチします。）

一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8005931-8600***

* 滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※ 主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

● **お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。**

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

(局番なしの) **151** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 午前9:00～午後8:00(年中無休)

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

(局番なしの) **113** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間(年中無休)

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

試供品のお問い合わせ先

■サムスン電子ジャパン株式会社

072-830-6075

受付時間 午前9:00～午後5:00(土曜日・日曜日・年末・年始・祝祭日を除く)
●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●試供品については、本書内でご確認ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

この取扱説明書は大豆油インキで印刷しています。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　Samsung Electronics Co.,Ltd.
'12.10(4版)
Code No.:GH68-35666B(Rev.1.0)